

第11回

小胞体ストレス研究会

開催日:平成28年10月10日(月)~11日(火)

会場:岐阜大学サテライトキャンパス 多目的講義室(大)

〒500-8844 岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング37 東棟4階

研究会 会長

原 英彰

岐阜薬科大学薬学部 薬効解析学研究室 教授

特別講演

森 和俊先生

京都大学・大学院理学研究科・生物科学専攻
生物物理学教室・ゲノム情報分野・教授

「小胞体の機能と制御のダイナミクス」

問い合わせ先

第11回小胞体ストレス研究会事務局

岐阜薬科大学薬効解析学研究室内

TEL: 058-230-8100 (内線3676)

10月10日 (月)

開会の挨拶： 大会長 原 英彰 教授 12:55~13:00

セッション1 (座長： 広島大学 今泉 和則 先生) 13:00~14:00

演題1：記憶の再生と小胞体ストレスシグナル

岐阜大学 中川 敏幸 先生 (20分)

演題2：EMC は複数膜貫通ドメイン膜タンパク質の合成に特異的に必要な因子である

広島大学 佐藤 明子 先生 (20分)

演題3：Sec63欠損下でspliced XBP1は集合管の炎症を抑制している

北海道大学 石川 康暢 先生 (20分)

ポスター1 (進行：大阪大学 片山泰一先生・発表：奇数番号) 14:00~14:35

セッション2 (座長： 岡山大学 上原 孝 先生) 14:45~15:25

演題4：UPR欠損マウス胎児線維芽細胞は小胞体からのCa²⁺放出を介してアポトーシスを誘導する

徳島大学 張 君 先生 (20分)

演題5：活性化ミクログリアにおける Atf6a機能の重要性

金沢大学 堀 修 先生 (20分)

ポスター2 (進行：大阪大学 工藤喬先生・発表：偶数番号) 15:25~16:00

ポスター3 (自由討論) 16:00~16:30

特別講演 (座長：岐阜薬科大学 原 英彰先生) 16:30~17:20

演題：小胞体の機能と制御のダイナミクス

演者：森 和俊 先生 (京都大学)

情報交換会・ポスター大賞発表 18:30-20:30

10月11日 (火)

セッション3 (座長: 徳島大学 親泊 政一 先生) 10:15~11:15

演題6: PERK を介したミトコンドリアストレス応答機構の解明

宮崎大学 加藤 裕紀 先生 (20分)

演題7: DNA損傷における小胞体膜貫通型転写因子OASISの役割

広島大学 浅田 梨絵 先生 (20分)

演題8: Maintenance for ER homeostasis through disulfide reductase, ERdj5

京都産業大学 潮田 亮 先生 (20分)

セッション4 (座長: 宮崎大学 西頭 英起 先生) 11:30~12:10

演題9: ライツゾームに局在する膜貫通型ユビキチンリガーゼの生理機能

広島大学 金子 雅幸 先生 (20分)

演題10: 膜内蛋白分解酵素 γ セクレターゼの基質結合輸送機構の解析

大阪大学 福森 亮雄 先生 (20分)

閉会の挨拶: 次期大会長